

### 1 学校の重点目標

○ 基礎・基本を身に付け、活用できる力を育成する指導の工夫
○ 生徒指導を中心とした、落ち着いた学習環境作りの工夫
○ 継続的な運動の機会を確保するための一校一運動の充実

### 2 課題と改善策

(4段階評価)

	評価項目	評価	改善策
重点項目	1 子どもたちが考え学び合う授業の工夫に努める。	3. 1	○学習形態を工夫し、ペアでの意見交換や一斉でのタブレットの活用など、指導方法をこれまで以上に研究、実践する。
	2 「あ・ハ・は」運動を徹底し、学習環境作りに努める。	2. 9	
	3 縄跳び運動を始めとした運動の機会設定に努める。	2. 8	○研修テーマと関連させて、体力向上に努めさせる。
	基本的な生活習慣と確かな基礎学力の育成	平均	改善策
学力向上	1 基本的な学習習慣を身に付けさせる。	3. 0	○学習の機会確保をしながら、教師の業務改善を図るために、ナビマを活用しながら、基礎基本の定着を図るよう工夫する。
	2 個に応じた指導の充実に努め、基礎的基本的な知識・技能を習得させる。	3. 1	
	3 学習意欲を高める授業、指導方法の改善・充実に努める。	3. 1	○読解力向上を図るために、本に親しませる手立てを工夫したり、文章問題に触れさせる機会を増やすようにする。
	4 家庭学習の充実に努める。	3. 3	
	5 読書指導の充実に努める。	2. 8	
	6 特別支援教育の充実に努める。	3. 2	
	思いやり・たくましい・やり抜く心、健康づくり	平均	改善策
生徒指導	1 全校指導態勢で、生徒指導の充実に努める。	3. 1	○進んであいさつする子が増えてきつつあるので委員会活動と連携して、習慣化をめざして学校全体で取り組む。
	2 「心の居場所」のある学級経営に努める。	3. 2	
	3 基本的な生活習慣を身に付けさせるために、家庭との連携に努める。	3. 1	○考え議論する道徳の授業を継続するとともに、家庭と連携を図り心の教育を充実させる。
	4 「心の教育」や人権教育の推進に努める。	3. 2	
保健指導	1 保健指導の充実に努める。	3. 1	○健康な体づくりと自分の疾病への意識付けを積極的に行い、学校と家庭が連携できるように情報発信を工夫する。
	2 安全指導の充実に努める。	3. 2	
	3 給食指導の充実に努める。	2. 8	
	4 体力の向上に努める。	2. 9	○「チャレンジかごしま」に取り組みせ、楽しく運動する習慣の育成に努める。
	開かれた学校、教育環境づくり	平均	改善策
地域連携	1 地域人材等の積極的活用、体験活動の充実に努める。	2. 6	○人材活用が少しずつ改善されてきているので、収束後は活用できるように学校内への周知や地域への声かけを積極的に行う。
	2 地域や家庭との連携、積極的な情報発信に努める。	2. 8	○コミュニティスクールのスタートと連動して、子供の健全育成に向けて、地域の声に耳を傾けながら、学校と地域が一緒に取り組む体制づくりに努める。

### 3 次年度に向けての取組

- GIGA スクール構想の実現に向けて、学校全体が積極的に取り組むための効果的活用方法の研究を進める。
- 職員（個人）研修のあり方について、共通理解を図り、一人一人が意欲的に研修に取り組む体制づくりに努める。
- 不登校児童へ組織的に関わられるように校内体制を確立する。
- 業務改善を図るために、定時退庁日を確実に設定すると共に、PDCA サイクルを意識した学校評価や衛生委員会に取り組み、ボトムアップを積極的に取り入れ一人一人の意識化を図る。